

第3章

資料編

参加青年名簿

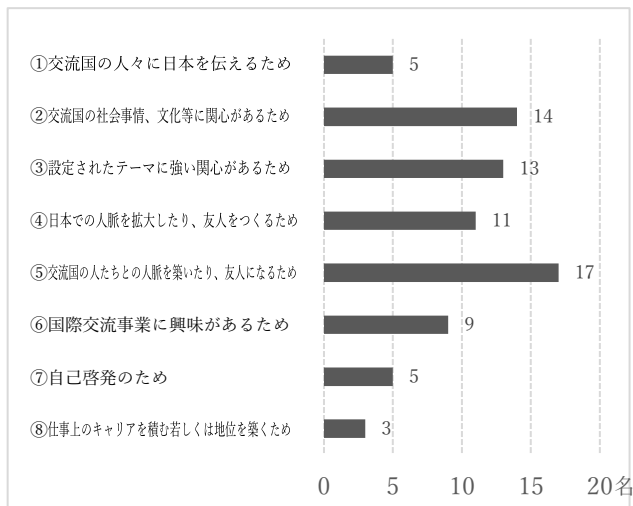
事業評価アンケート

研修日程

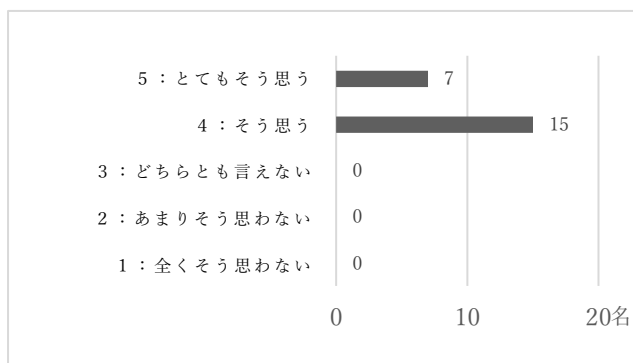
実績

1. 全体評価

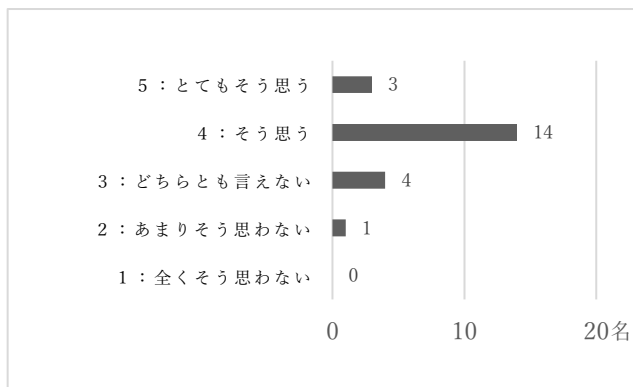
(1) あなたが、この事業に参加した目的は何ですか。
(複数回答可)



(2) その目的は達成できましたか。

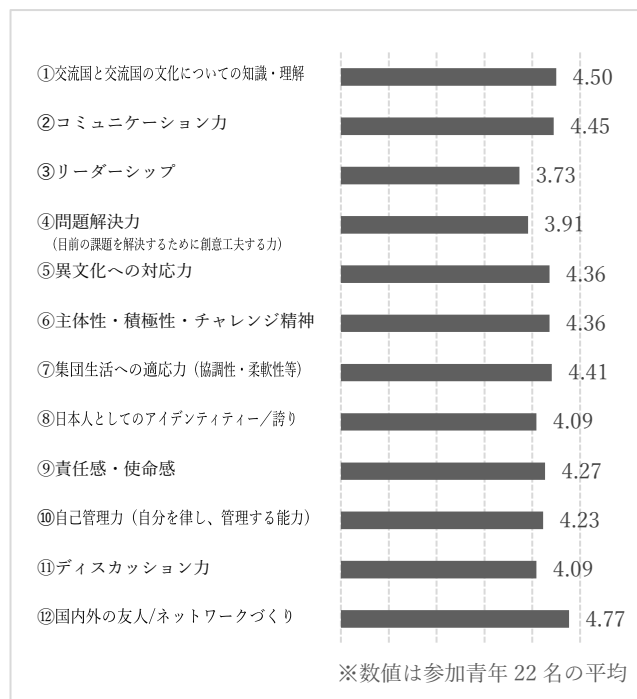


(3) 事業全体について、良い内容だったと思いますか。

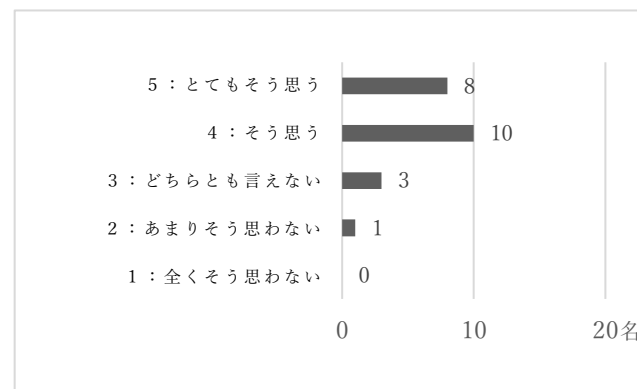


(4) 以下の①~⑫までに掲げる項目に関し、この事業全体を通じて得られた自らの成長等への効果について、以下の5~1のうち、該当すると思われるものを選択してください。

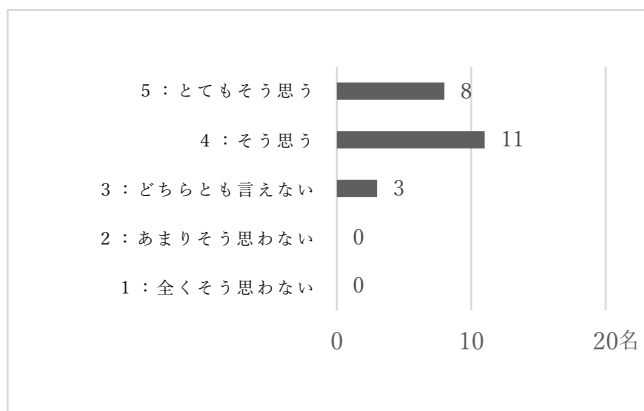
- 5:大きな効果があった
- 4:効果があった
- 3:どちらでもない
- 2:あまり効果がなかった
- 1:全く効果がなかった



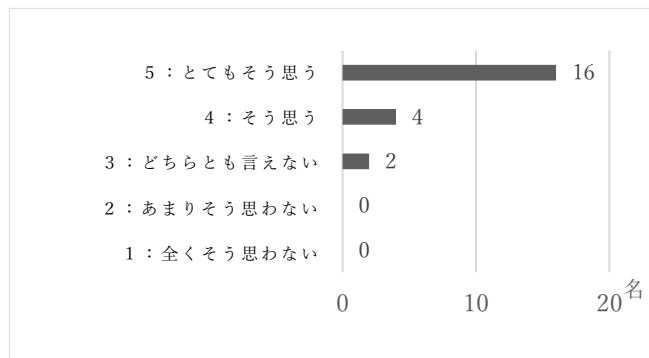
(5) あなたはこの事業への参加を通じて、人生、社会などについての考え方が変わったと思いますか？



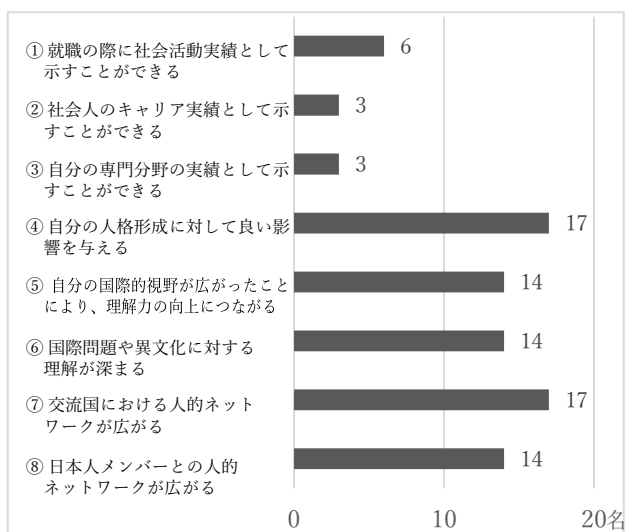
(6) 事業参加を通じて、社会貢献活動を始めた
い、参加したいという意欲を持つようになりましたか。



(7) この事業は、あなたの将来に役立つと思いますか。



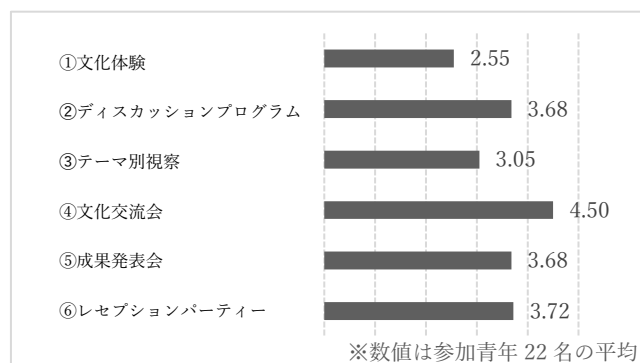
(8) 上記において、5と4を選んだ方は、どのよ
うに役立つと考えるか、以下の内容から当ては
まる項目を選んでください。(複数回答可)



2. 国際青年交流会議 (10/16~19) について

(1) 国際青年交流会議の各活動をどのように評価
しますか。(5段階評価)

- 5: とても良かった
- 4: 良かった
- 3: どちらとも言えない
- 2: あまりそう思わない
- 1: 全くそう思わない



(2) 国際青年交流会議の良かったところや改善す
べき点など、自由に記載してください。

(自由記述)

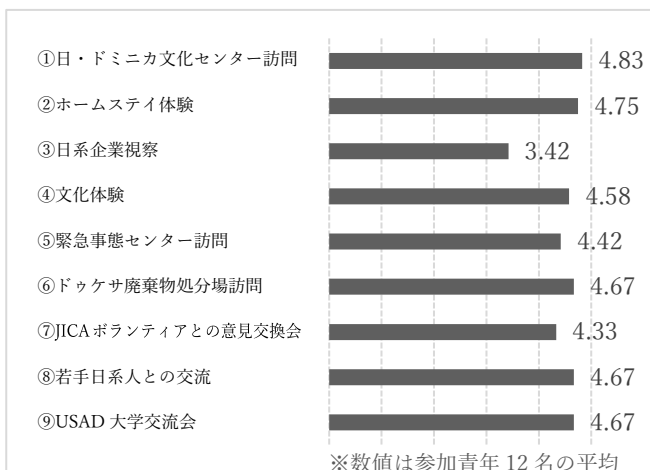
<エストニア共和国>

- ・文化交流やディスカッションなど、多国間の交流が発生するものはとても充実していた。
- ・施設訪問をしたことがアウトプット向上に寄与していないと感じた。
- ・時間の使い方や伝え方、ベジタリアンへの配慮、ファシリテーターの意義など、色々な部分をブラッシュアップしていくとよりよい交流の機会になると思う。

<ドミニカ共和国>

- ・ IT のテーマの人々とも交流の機会があったのは良かった。
- ・ 国際青年交流会議のディスカッションでケーススタディは非常に学びになった。
- ・ 成果発表についてどの班も発表が同じようなものとなってしまっていたため班ごとに別のテーマを設定することや、ケーススタディを発表する形にしてもよかったのではないか。
- ・ 5カ国がそれぞれの文化を紹介し合って交流したのはとても良かった。
- ・ 制限が強すぎた。

<ドミニカ共和国>



(2) 派遣国活動の良かった点や改善すべき点など、自由に記載してください。

3. 派遣国活動について

(1) 派遣国での活動をどのように評価しますか。

(5段階評価)

- 5:とても良かった
- 4:良かった
- 3:どちらとも言えない
- 2:あまりそう思わない
- 1:全くそう思わない

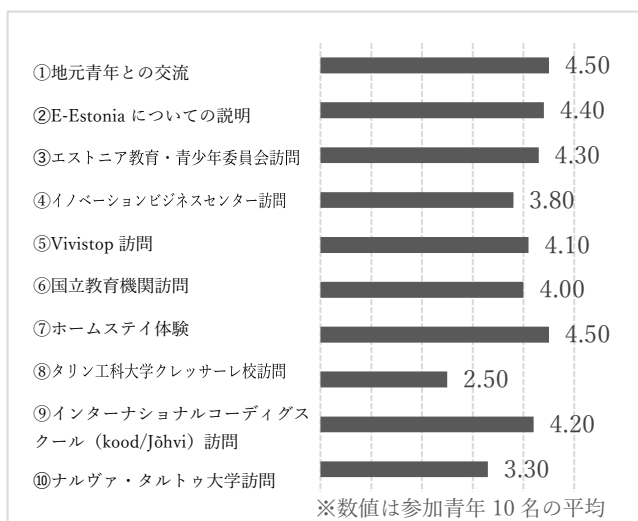
<エストニア共和国>

- ・ ひとつひとつのプログラムは面白かった。
- ・ 全体を通して教育関連施設の訪問が多かった。IT の活用というテーマであったため、もっと幅広い省庁や施設、企業を訪問することでより有意義な派遣となったと思う。
- ・ 色々な分野の施設に訪問できたのは良かったが、メンバーの関心事にあった訪問先も用意していただきたかった。
- ・ 現地との交流を通じた文化体験、ホームステイや大使館訪問などこのプログラムならではの経験を得られた。

<ドミニカ共和国>

- ・ 限られた時間の中で密度濃く様々なプログラム・体験をさせてもらえたと思う。
- ・ 普段行くことのできない場所に訪問でき、非常に貴重な経験だった。
- ・ ホームステイは非常に良い経験となった。ドミニカ共和国の方々がどのような暮らしを送っているのかを肌で感じる事ができ、ドミニカ共和国に関しての理解を深めることができた。

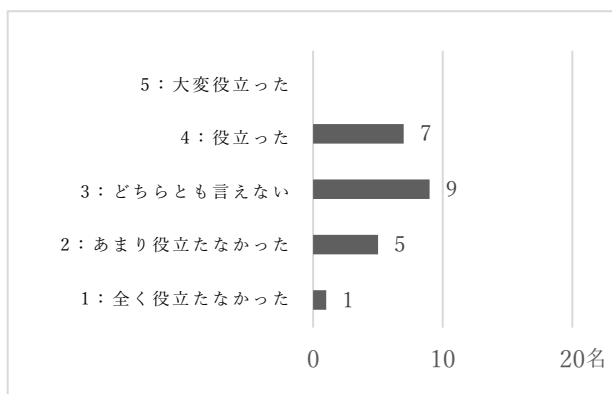
<エストニア共和国>



- ・訪問期間が一週間と非常に限られていて、テーマに合った視察を十分にすることができなかった。

4. オンライン交流について

(1) オンライン交流は派遣プログラムや国際青年交流会議への準備として役立ちましたか。



(2) オンライン交流の良かった点や改善すべき点を具体的にお答えください。

<エストニア共和国>

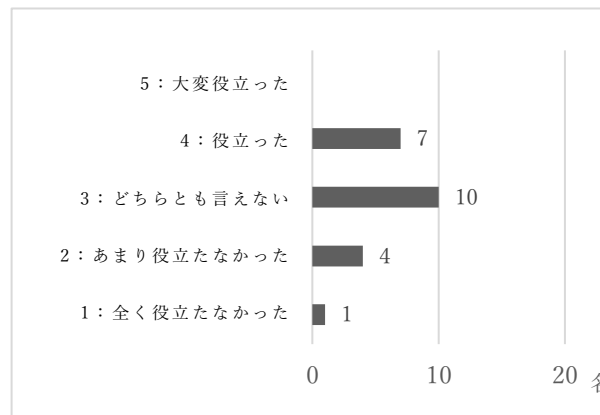
- ・事前に青年の人となりを知れたのが良かった。
- ・オンラインの交流はただでさえ話すタイミングが難しいので、通訳は不要かと感じた。
- ・オンライン交流会の宿題として日本について調べたことが訪問活動の日本文化紹介に活用できた。

<ドミニカ共和国>

- ・通訳が入ったため、時間がかかり、直接的な交流ができたとは感じなかった。
- ・テーマについてお互いが十分に認識しているようには思えなかった。最初に各国の代表者の話し合いの場を設けるなど、オンライン交流の目的を浸透させるような取り組みが必要であると感じられた。

5. 事前研修について

(1) 研修内容は派遣プログラムや国際青年交流会議への準備として役立ちましたか。



(2) 事前研修の良かった点や改善すべき点を具体的にお答えください。

<エストニア共和国>

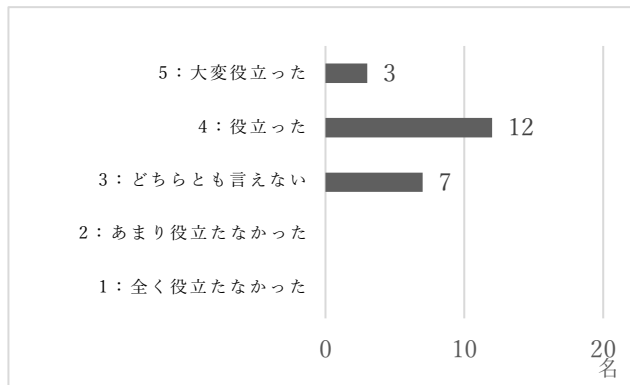
- ・チームメンバーと顔見知りになること、派遣への意欲を高めるにはとても良い時間だった。ただ、研修内容は外部の専門家の招へいを検討するなどもう少し工夫が必要だと感じた。

<ドミニカ共和国>

- ・ドミニカ共和国のインプットは非常に有意義であった。一方、リーダーシップ研修やコミュニケーション研修などの一般事項に関する研修は、想定しているゴールが不明確であり期待している成果を得られているのか不明であった。
- ・過去の参加青年の方との交流はよかったが、過去の参加青年からの情報の連携をもう少し強めてほしいと思った（過去の派遣中、どのような活動を行い、何が評判が良かったのか、何を持っていったら現地の人に喜んでもらえたか等の情報を過去の参加青年から聞き取った。）

6. 出発前研修について

(1) 研修内容は派遣プログラムや国際青年交流会議への準備として役立ちましたか。



(2) 出発前研修の良かった点や改善すべき点を具体的にお答えください。

<エストニア共和国>

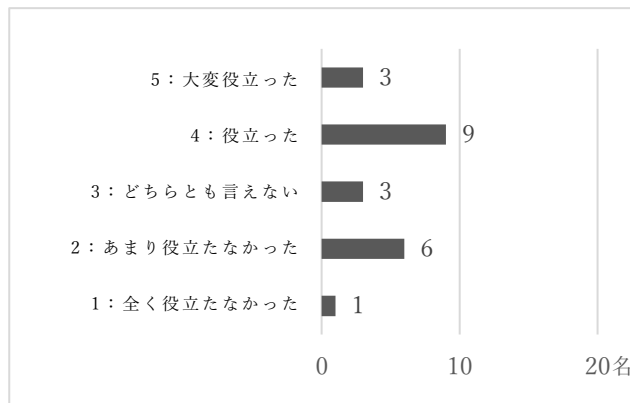
- ・ 派遣団内で方針等認識一致やチームビルディングに役立った。
- ・ 日本紹介の準備としては悪くなかった。

<ドミニカ共和国>

- ・ ドミニカ共和国派遣団として久しぶりに対面で集まり、派遣への士気を一緒に高めることができたとともに、文化交流の際に披露しようと考えていたパフォーマンスの確認もすることができ、有意義に時間を使うことができた。
- ・ 渡航や日程に関する説明が短かった印象を受けた。来年度以降はもう少し早い段階での e-ticket の説明や申請方法の詳しい説明をお願いしたい。

7. 帰国後研修について

(1) 研修内容は研修の振り返り、今後の活動計画の作成に役立ちましたか。



(2) 帰国後研修の良かった点や改善すべき点を具体的にお答えください。

<エストニア共和国>

- ・ 国際会議が終わる際に事業も終了で良かったと思う

<ドミニカ共和国>

- ・ これまでの全活動を仲間と一緒に振り返ることができ、また記憶が鮮明なうちに自分に課されている課題を終えることもできたので大変良かった。
- ・ 出発前研修からの長丁場の中で、団員の体力や集中力も既に低下してきている状況下で、帰国後研修の内容については1.5日も必要とは感じなかった。

8. 総合評価

(1) 今回の経験をどのようにいかしていきたいですか。

<エストニア共和国>

- ・今回得られた1番の大きなものは、人間関係なので、このつながりを絶やさずお互いに高め合っていきたい。
- ・事業を通して、ITの活用だけでなく、どのようにITを導入していくかという観点で大きな知見を得ることができたため、高齢者や障がい者、その他にもIT技術を利用することが苦手な方でも、「使いたい」、「使いやすい」と感じられるような、IT技術の開発やIT利用に関してのワークショップを開くなど、人とIT技術をつなぐことに力を注ぎたい。
- ・仕事において海外の顧客と会議する際に、英語でより自分の意見を伝えられるようになった
- ・青年たちとの交流を継続し、他の国との架け橋になるような活動をしていきたい。
- ・事前研修中や派遣中に身につけた準備力や、ディスカッションで身につけたコミュニケーション力と主体性を活かして、リーダーとしての素養を磨いていきたい。
- ・今回色々な分野について学び、自分の関心がなかった分野についても深く知ることができたため、その知識を自分の分野にいかして勉強していきたい。また海外青年や団のメンバーの知識の深さや関心事に対する熱量などにとっても刺激を受けたので、自分もこの熱量を保って活動していきたい。

<ドミニカ共和国>

- ・今回の事業で発見した自分の弱みの克服と強みを伸ばすように今後の人生で意識し、国際人として将来世界を舞台に活躍できるようにになりたい。
- ・今回の経験は私にとって人生のターニングポイントになった。
- ・事後の社会活動を通じて、交流事業で得られた非日常的な経験、あるいは海外駐在生活等で得られた知識や体験談など、未来を担う若い世代に伝えていき、彼らが国際人として一歩踏み出す後押し、ひいてはグローバルに活躍する人材の育成に寄与していきたい。
- ・この多岐にわたる文化をまず自分自身が理解し、その良さを様々な人に伝えるとともに日本の文化、良さを日本人である自分が伝えていきたい。
- ・今回の経験を通してリーダーシップを持つ仲間にも囲まれ、積極性や責任感が今まで以上に身についたと感じる。今後（このプログラムに限らず）コミュニティに所属・参加するときは、やらなければならないこと以外にも、その場で何が必要とされていて自分が何をできるかを考えながら、行動に移してコミットしていきたい

(2) 事業全体について感じたこと、気づいたことを自由に記載してください。

<エストニア共和国>

- ・事業を振り返ってみると、総じて楽しかったと思う。一方、派遣先の多様化や、国際会議の進め方等を工夫することでもっと学びのある事業にできたらと思う。
- ・募集要項時の内容と、実際のプログラムの内容に変更があったため、大きく相違のないよう募集してほしい。
- ・私のなかで人生が180度変わるといっても過言ではないほどとても貴重な時間を過ごせ

た。プロジェクトを進めるにあたって、トラブルはつきものであり、個人的には参加者が求めていたレベルが想定していたものよりもはるかに高かったのではないかと感じる部分があるが、そんな中、ご尽力いただきありがとうございました。次年度以降の参加者も有意義な時間を過ごせるよう、いい部分は引き継いで、改善できるところは更に良いものになるよう変更して事業を継続いただけたらと思う。

<ドミニカ共和国>

- ・日本参加青年の派遣先でなかった国の外国参加青年は、日本参加青年や他国の参加青年と打ちとけるアイスブレイクの時間や、テーマについて理解度を高められる工夫が必要なのではないかと感じた。
- ・効率や安全を考慮するあまり、外国人青年や日本人青年の想いが無視されているとも感じた。時差が大きい国と派遣・招へいプログラムが実施されているため、柔軟に動いていた部分があればもっとよかった。
- ・とても刺激に満ちたプログラムで、私自身も学ぶことが多くて本当に有意義なプログラムだったと思うが、全体的に準備の進め方だったり内容の質だったり改善点が多々あるなと感じた。せっかくの素晴らしい事業であるため、参加青年たちは高いモチベーションや期待を胸に参加しているので、がっかりするようなことや憤りを感じることがないように来年度以降のプログラム作りを期待している。
- ・派遣国であるドミニカ共和国に限らず、日本に帰ってきてからも他の3カ国の参加青年と交流することができ、大変有意義なものとなった。様々な文化を理解し、体験することで自分にはなかった見方や考え方を見つけ、自分には足りていない点、そして自分が誇れる点を考え直すことができた。